



# “ジュネーブから今を見る” 今日のヘッドライン

欧州

2017年4月17日

## トルコ国民投票の改憲支持は僅差での勝利

トルコの国民投票で問われたことは、表面的には現在の議会制から大統領制への移行のために憲法改正を認めるかです。より本質的には現在のエルドアン大統領の権限強化が問われた国民投票と見られます。

### トルコ国民投票：大統領に強い権限、議院内閣制は廃止へ

トルコで2017年4月16日に、大統領権限を強化する憲法改正の是非を問う国民投票が行われました。即日開票された結果、現地報道として、改憲賛成派の勝利が発表されています。開票率99.97%で、賛成票51.41%、反対票48.59%と報道されています。エルドアン大統領は勝利宣言しています。

#### どこに注目すべきか：

#### 国民投票、大統領制、任期、インフレ率

トルコの国民投票で問われたことは、表面的には現在の議会制から大統領制への移行のために憲法改正を認めるかです。より本質的には現在のエルドアン大統領の権限強化が問われた国民投票と見られます。

まず、トルコの国民投票の背景を再確認すると、改正前のトルコ憲法でトルコは議院内閣制で、大統領はいわば名誉職と考えられています。トルコの最大の実力者であるエルドアン大統領が、弱い立場に甘んじていたこととなります。一方、2003年から2014年まで公正発展党(AKP)党首としてトルコ首相であったエルドアン大統領は3期までというルールにより、首相を退任すると共に、2014年初の国民投票で大統領に選出されました。

改憲により大統領の権限が大幅に強化される見込みです。例えば、首相を廃止(現職のユルドゥルム首相は国民投票を支持する姿勢です)、大統領が行政の長となり、大統領は議会の信任が不要、閣僚の指名権も与えられるなど権限は大幅に強化される模様です。その上、大統領の任期も現在の4年から、5年、2期までとされ、しかも任期が2019年までとするエルドアン大統領には2019年以前の任期はカウントされないとなれば、可能性として(選挙での当選)2029年までトルコの大統領として君臨するシナリオも想定されます。

国民投票の結果を受け、リラは上昇傾向です(図表1参照)。2016年7月にトルコで起きたクーデター未遂事件など政情不安が懸念される中、安定への期待がリラを下支えした可能性

が考えられます。

ただ、リラの本格的な回復の可能性は低いと思われます。まず、大統領の権限拡大を懸念する声も根強い点が気懸かりです。議席配分からは6割程度の賛成(エルドアン大統領も55%程度を期待していた模様)が想定されるものの、実際の投票は賛否が拮抗しており、結果を巡る混乱も懸念されます。

次に、トルコの経済政策運営への不安です。新興国全般に景気回復が見られる中、トルコは低成長と高インフレに苦しんでいます(図表2参照)。他の新興国では、軟調な経済と通貨安を受けた高インフレに直面した場合、苦しくても利上げでインフレ退治を優先させる例が多い中、トルコでは政治が金融政策に口先介入した局面も見られただけに、権限拡大に不安もよぎります。また、トルコは財政状況も悪化しており、対応が求められます。強大な権限を持つことへの期待もある反面、市場と調和のとれた政策運営には、不安も残ります。

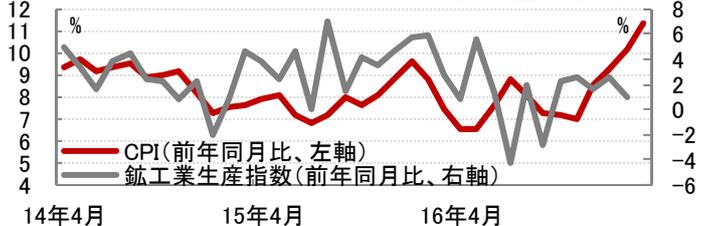
図表1:トルコリラ(対ドル)と政策金利の推移

(日次、期間:2014年4月17日~2017年4月17日(日本時間正午))



図表2:トルコ消費者物価指数(CPI)と鉱工業生産指数

(月次、期間:2014年4月~2017年3月、鉱工業生産指数は2月迄)



出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成



ピクテ投信投資顧問株式会社

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。